

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号) 企業・団体名(株式会社エイブルデザイン

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得証拠があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらに理由を記入)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目													
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 (必須)			・各スモールチームでの定期ミーティングで対話を重視。関係の質向上に取り組む。CSR・SDGsの学びを通して「差別」について考える機会を持つ。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3				
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 (必須)			・各スモールチームでの定期ミーティングで対話を重視。関係の質向上に取り組む。リーダーのハラスメントセミナーなどの受講を推進。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8						
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 (必須)			・基本的に残業の禁止を宣言。 ・時間と場所の制限のない勤務体制（裁量労働制）を導入。								8.5 8.8						
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 (必須)			・各スモールチームでの定期ミーティングで対話を重視。関係の質向上に取り組む。CSR・SDGsの学びを通して「外国人差別」のない職場環境を育てている。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3				
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			・リモートワークのメリットを共有し、労働環境が仕事の質を向上させることを基本指針とする。			3					8						
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 (必須)			・メンター制度導入、スモールチームで対話の重視など、いろいろな相談等が気軽にできる職場環境づくりに取り組んでいる。			3											
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			・各スモールチームでの定期ミーティングで対話を重視。関係の質向上と共に、多様性を重視する環境づくりに取り組んでいる。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3				
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 (必須)			・自発的な社内勉強会、社外セミナー等への参加を積極的に支援している。				4	5.5			8	9					
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 (必須)			・同一労働同一賃金等の原則に沿った対応をしている。					5.5			8.5		10.2 10.3				
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)						3					8						
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 (必須)			・環境に悪影響を及ぼす可能性がある廃棄物等は、専門業者による処理を行っている。											11.6	12.4		14.1
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 (必須)		【予定】	・（予定）温室効果ガス排出量の把握に取り組む方針。							7.3						13	
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)			・温室効果ガス排出量を把握し（予定）、省エネを通して排出の抑制に取り組んでいる。							7.2 7.3					12.4	13.3	
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 (必須)		【予定】	・有害化学物質について、法令遵守の対応を行う。			3.9			6.3					11.6	12.4		

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらに理由を記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目													
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
																				
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)			・FSC認証紙の使用や、生物多様性の重要性の学習を通して保全活動・啓発を推進する。						6.6								
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)			・紙の使用の抑制と同時に、紙の循環使用をめざし、「PELP」プロジェクトに参加している。												12.5		14.1
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)									6.4 6.6								
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)						3.9			6	7					12	13.3	14
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)															12.6		
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・本社使用電量を自然エネルギー由来の電力供給会社 に切り替える。(2021年切り替え済み)							7.2						13	
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)															12.2	13	14
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			・CSR・SDGsの学びを通して「汚職等のマイナスインパクト」について考える機会を持つ。														
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			・CSR・SDGsの学びを通して「不正競争等のマイナスインパクト」について考える機会を持つ。														
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)			・社内・社外の勉強会等への参加で、知的財産についての知識と重要性を学ぶことで「知的財産」の保護に全社的に取り組む。							8.2 8.3	9						
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			・プライバシーマーク (第17003208 (02) 号) を取得。それに伴う個人情報保護の取り組みを的確に行っている。														
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ (任意)																	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応 (ハラスメント・汚職・贈収賄防止) について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)								5		8		10		12	13	14	
28		【パートナーシップ構築宣言】 (R5. 9. 5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト: https://www.biz-partnership.jp/	基本 (必須)		【予定】	・今後の課題とする			3				8	9	10					

項目 番号		チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の場 合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらに理由を記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目													
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
																				
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 （必須）			・デザイン、制作物、Webサイト等の過誤、過失、誤動作等で起こるマイナスインパクト防ぐため、社内でミス撲滅プロジェクトを実施・徹底している。			3.9									12.4		
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 （必須）			・社内・社外の勉強会等への参加で、知的財産についての知識と重要性を学ぶことで「知的財産」の保護に全社的に取り組む。							9							
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ （任意）								6						12	13	14	
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ （任意）				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
33	社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 （必須）			・デザインの力が、地域の活性化の一助になると考え、課題に対する提案に積極的に取り組む。				4				9		11	12		14	
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・CSR活動の一環でもある「信州サステナブル通信」の運営によるSDGsの活動紹介を通して社会にgood impactを生み出すお手伝いを実行中。				4						11			14	
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ （任意）										8	9		11	12	13		
36	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本 （必須）			・自社のミッションである、「人に、社会に、good impactを！」を社内に浸透させるために、学習会や取組を具現化するためのWSを開催に取り組む。							8	9						
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本 （必須）			・社内・社外の勉強会等への参加で、知的財産、商標・特許、独占禁止法等についての知識と重要性を学ぶことで法令の遵守に取り組んでいる。														
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本 （必須）			・間違っって社会へのマイナスインパクトが発信されないような、相互検討が日常的にできる体制を整える。														
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本 （必須）			・自社のミッションである、「人に、社会に、good impactを！」を実現するために、地域や市民団体、NPO、関連企業を巻き込んだネットワークづくりに取り組む。														
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ （任意）																	
41		【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ （任意）																	
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ （任意）											9		11		13 13.1		
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ （任意）										8	9						

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能。後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレント州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定